

令和6年度 足立区社会福祉協議会 事業概要・収支予算説明書

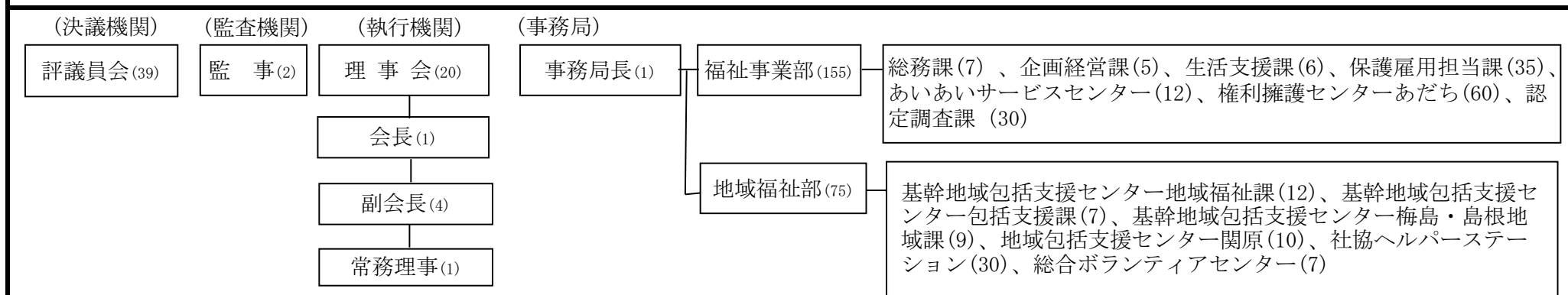
1 概要説明

直近の日付→

令和6年1月1日現在

名 称	社会福祉法人 足立区社会福祉協議会	所 在 地	足立区中央本町一丁目17番1号
設 立 年 月 日 公 益 認 定	昭和30年3月19日 昭和40年6月30日	代 表 者	会長 小久保 隆
職員数(実員)	常勤77名(派遣2名 固有75名) 非常勤等154名 合計231名	基 本 財 産	450万円

2 組織機構



3 令和6年度経営方針と重点事項

【経営方針】

足立区社会福祉協議会は、地域福祉のプロとしての自覚と責任をもち、『ささえ愛 地域いっぱい広がります』を合言葉に、地域づくり、人づくり、しくみづくりを進めます。

【重点事項】

- 1 区民に親しまれ、頼られる社協を目指すために広報を強化する。
- 2 災害時における支援体制を強化するため、平時から多様な団体等と幅広いネットワーク(顔の見える関係)を構築する。
- 3 地域福祉活動計画の具現化に向け、地域住民を後押しする事業(進め!あだちプロジェクト)を推進する。
- 4 業務の効率化や組織体制の見直し、財源基盤の強化等により、区民サービスの向上を図る。

【組織改編】

足立区が江北地区に新たに設置する「すこやかプラザ」(仮称)を拠点にした重層的支援体制の取り組みの開始等、組織改編も行いつつ、足立社協としての強みを生かした取り組みができるよう、重点事項について検討・対応を進める。

4 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

1 区民に親しまれ、頼られる社協を目指すために広報を強化する。
 全職員が広報に関する共通認識を持てるようにしたコンセプトブックの作成や、インパクトのあるポスター等を作成し、社協のPRを強化する。

- (1) 広報誌「あだち社協」の発行
 発行部数 R5[105,500部/年4回] R6【80,000部/年3回】
 (参考) R4実績[105,500部/年4回]
- (2) SNSの活用
 活用所属 R5[Facebook、LINE(2課)] R6【Facebook、LINE(2課)】
 (参考) R4実績[Facebook、LINE(2課)]
- (3) ホームページの改修
 当会が令和7年3月に創立70周年を迎えることを機に、より見やすく、より分かりやすいホームページに改修を行う。
- (4) 広報媒体等活用状況の現状分析・改善
 R5[新規/随時] R6【更新/随時】
- (5) 広報コンセプトブックの作成
 作成回数 R6【新規/1回】
- (6) 広報研修の開催
 開催回数 R5[1回] R6【1回】
 (参考) R4実績[1回]

予算増減

- ① 広報事業
 R5[15,306,000円] R6【15,684,000円】(378,000円増)
 ※ 広報誌「トキメキ」の掲載料を増額したため。

2 災害時における支援体制を強化するため、平時から多様な団体等と幅広いネットワーク(顔の見える関係)を構築する。
 大規模災害に備え災害ボランティアや資機材の充実を図る。

- (1) 災害ボランティア登録者の確保
 登録者数 R5[440名] R6【350名】
 (参考) R4実績[423名]
 ※ R4年度末に更新を行った際、登録者数が423名から317名に減少したため目標値を350名に設定している。
- (2) 災害に関する研修

開催回数 R5[4回] R6【4回】
 (参考) R4実績[4回]

- (3) 災害ボランティアメールマガジンの配信
 配信回数 R5[12回] R6【12回】
 (参考) R4[13回]
- (4) BCP・災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂
 R5[随時] R6【随時】
- (5) 災害ボランティアオリエンテーション動画作成(ボランティアの心得)
 動画本数 R5[新規/1本] R6【新規/1本】

予算増減

- ① 災害ボランティア事業
 R5[2,069,000円] R6【2,251,000円】(182,000円増)
 ※ オリエンテーション動画作成費用を増額したため。

3 地域福祉活動計画の具現化に向け、地域住民を後押しする事業(進め!あだちプロジェクト)を推進する。
 区民や区内法人、団体や企業の地域活動をサポートする。

- (1) 人材発掘・情報発信
 - ア 地域活動のレポート数
 レポート数 R5[50回] R6【50回】
 (参考) R4実績[42回]
 - イ 出前講座
 講座数 R5[50回] R6【60回】
 (参考) R4実績[34回]
 ※ 12/22現在、30回実施。
- (2) 課題解決のための連携
 - ア あだちコミュニティミックス連絡会の開催
 ※ 個人や団体、企業等がそれぞれの強みを活かし、人生100年時代の地域づくりに協働・協創で取り組んでいくことを目的とした連絡会。
 開催回数 R5[5回] R6【5回】
 (参考) R4実績[6回]
 - イ 地域包括支援センターとの連携

連携数 R5[300回] R6【300回】

(参考) R4実績[209回]

(3) 資源開発の推進と機会づくり

ア ふれあいサロン数

サロン数 R5[155か所] R6【180か所】

(参考) R4実績[127か所]

※ 目標値は、発展強化計画に基づく年間25グループ増。ただし、自主グループを対象外に変更したため25増は達成できない見込み。

予算増減

① 地域福祉活動推進事業

R5[1,740,000円] R6【1,098,000円】(642,000円減)

※ 主に研修講師の依頼回数減に伴う謝礼金支出の減少及び消耗品支出や通信運搬費支出を節減したため。

② ふれあいサロン支援事業

R5[3,027,000円] R6【2,798,000円】(229,000円減)

※ ささえあいコール助成金の事業終了により、助成金支出が減少したため。

4 業務の効率化や組織体制の見直し、財源基盤の強化等により、区民サービスの向上を図る。

会費収入や寄付金収入等自主財源の確保と相談体制の充実を図る。

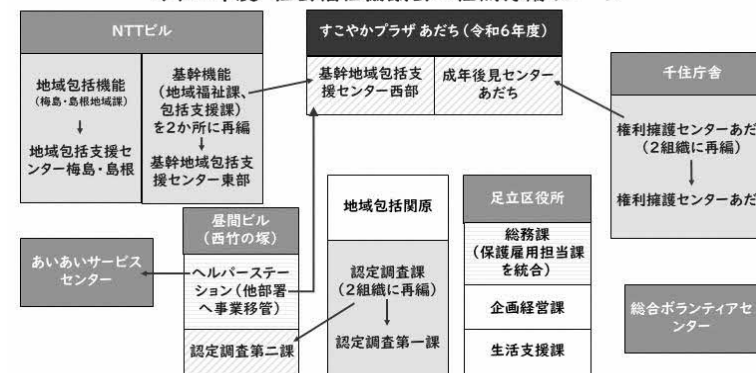
(1) 会費、寄附金のHP等広報媒体でのPR回数

PR回数 R5[58回] R6【58回】

(2) 地域共生社会づくりのための体制強化

足立区が開設する「すこやかプラザあだち」への一部拠点の移転や、令和7年3月に当協議会が創立70周年を迎えることなどから、次の10年を見据えた地域共生社会づくりの体制強化を図るため以下のとおり組織を再編する。

令和6年度 社会福祉協議会の組織再編イメージ



予算増減

① 会費・寄附収入

R5[17,266,000円] R6【18,598,000円】(1,332,000円増)

※ 民生・児童委員の会費納入時期を、コロナ禍以前の5月の合同民協時に戻したことで収入が回復してきたため。

5 収支予算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和5年度予算額 ①	令和6年度予算額 ②	【参考】 令和5年度予算執行状 況(11月30日現在)	比 較 増 減 ③=②-①	概要(内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益					
基本財産受取利息 <1>	4,000	4,000	45	0	
基本財産運用益計(1) <2>	4,000	4,000	45	0	
特定資産運用益					
特定資産受取利息 <3>	6,723,000	6,499,000	1,665,934	△ 224,000	1)福祉ボランティア基金運営事業(債権買替にともなう利回り減による利息配当金収入の減。前年度比224千円減)
特定資産運用益計(3) <4>	6,723,000	6,499,000	1,665,934	△ 224,000	
その他固定資産運用益					
その他固定資産受取利息 <5>	0	0	0	0	
その他固定資産運用益計(5) <6>	0	0	0	0	
事業収益					
自主事業収益					
会費収益 <7>	7,266,000	9,598,000	8,194,300	2,332,000	1)組織運営事業(新型コロナウイルス感染症の5類変更にともなう対面集金による会費の増。前年度比2,332千円増)
寄附金収益 <8>	10,440,000	9,406,000	5,533,270	△ 1,034,000	1)組織運営事業(令和5年度実績による減。前年度比1,000千円減)
事業収益 <9>	36,577,000	38,429,000	21,769,645	1,852,000	1)障がい者保護雇用清掃事業(清掃拠点1増<足立保健所>)。前年度比1,900千円増)
受託事業収益					
介護保険事業収益 <10>	193,346,000	195,918,000	145,005,016	2,572,000	1)要介護認定訪問調査事業(訪問調査件数増<9,000件→9,500件>)。前年度比1,850千円増)
障害福祉サービス等事業収益 <11>	33,939,000	33,499,000	20,463,128	△ 440,000	1)同行援護事業(事業縮小に向けた利用者数減<44人→37人>)による自立支援給付費収入の減。前年度比1,455千円減) 2)手話通訳者派遣事業(システム保守料324千円(新規)及び1件当たりの派遣料増(4,175円→4,673円)による受託事業収入の増。前年度比1,084千円増)
事業収益計(7+8+9+10+11) <12>	281,568,000	286,850,000	200,965,359	5,282,000	
受取補助金等収益					
受取補助金					

足立区補助金	<13>	608,791,000	614,472,000	496,001,364	5,681,000	1)事務局運営事業(固有常勤職員及び固有非常勤職員の昇給等にもなう増。前年度比4,509千円増) 2)要介護認定訪問調査事業(駐輪台数増<6台→24台>。前年度比600千円増)
障がい者雇用関係補助金	<14>	13,878,000	12,036,000	0	△ 1,842,000	1)障がい者保護雇用清掃事業(作業員退職及び制度改正による減。前年度比1,842千円減)
共同募金配分金	<15>	11,241,000	11,796,000	9,405,593	555,000	1)歳末たすけあい運動事業(令和5年度実施の募金実績による増。555千円増)
受取受託金						
足立区受託金	<16>	53,088,000	51,919,000	36,133,757	△ 1,169,000	1)ボランティア施設管理事業(消費税算出方法の変更による減。前年度比642千円減) 2)地域包括支援センター関原施設管理事業(消費税算出方法の変更による減。前年度比404千円減)
東社協受託金	<17>	30,442,000	56,111,000	56,091,000	25,669,000	1)生活福祉資金特例貸付事業(前年度に償還業務の委託金が増額されたことによる増。前年度比25,820千円増)
受取補助金等収益計(13+14+15+16+17)	<18>	717,440,000	746,334,000	597,631,714	28,894,000	
雑収益						
雑収益	<19>	1,955,000	1,304,000	1,628,118	△ 651,000	1)緊急援護事業(過年度分償還金の減。前年度比550千円減)
雑収益計(19)	<20>	1,955,000	1,304,000	1,628,118	△ 651,000	
サービス活動外収益						
積立資産取崩収益	<21>	50,790,000	36,347,000	6,721,560	△ 14,443,000	1)組織運営事業(清掃事業積立金の取崩による減。前年度比17,087千円減)
その他の活動による収益	<22>	6,240,000	6,720,000	2,616,000	480,000	1)高齢者あんしん生活支援事業(預託金価格改定<520千円→600千円>による増。前年度比480千円増)
サービス活動外収益計(21+22)	<23>	57,030,000	43,067,000	9,337,560	△ 13,963,000	
経常収益計(2+4+6+12+18+20+23)	<24>	1,064,720,000	1,084,058,000	811,228,730	19,338,000	

(2) 経常費用

単位：円

科 目	令和5年度予算額 ①	令和6年度予算額 ②	【参考】 令和5年度予算執行状 況（11月30日現在）	比 較 増 減 ③=②-①	概要（内訳・主な増減理由など）
事業費					
人件費 <25>	854,155,000	863,010,000	540,805,818	8,855,000	1) 事務局運営事業(固有常勤職員及び固有非常勤職員の昇給等にもなう増。前年度比2,147千円増) 2) 生活福祉資金特例貸付事業(人材派遣職員費4名分増。前年度比21,600千円増) 3) 障がい者保護雇用清掃事業(作業員の退職及び就労時間の短縮による減。前年度比16,172千円減)
事業費 <26>	69,536,000	81,327,000	50,802,712	11,791,000	1) おはよう訪問事業(乳酸菌飲料の単価の値上がり<40円→52円>による消耗器具備品費支出の増。前年度比3,110千円増) 2) 要介護認定訪問調査事業(登録制調査員制度の導入に係る業務委託費支出の増。前年度比7,140千円増)
事務費 <27>	119,999,000	118,587,000	65,615,605	△ 1,412,000	1) 施設管理事業(消費税算出方法の変更による租税公課支出の減。前年度比2,054千円減) 2) 地域包括支援センター事業(一般管理費確保のための事務費全般見直しによる事務費支出の減。前年度比3,770千円減) 3) 生活福祉資金特例貸付事業(償還事務に係る郵送料等の増。前年度比4,220千円増)
分担金 <28>	1,365,000	1,275,000	210,000	△ 90,000	1) 事務局運営事業(社会を明るくする運動への分担金の減(300千円→210千円)。前年度比90千円減)
助成金 <29>	7,544,000	7,191,000	4,157,477	△ 353,000	1) ふれあいサロン支援事業(ささえあいコール助成金廃止等による活動助成金支出の減。前年度比370千円減)
負担金 <30>	71,000	21,000	21,000	△ 50,000	1) 基幹地域包括支援センター事業(ブロック負担金の減(50千円→0円)。前年度比50千円減)
固定資産取得費 <31>	360,000	360,000	0	0	
予備費 <32>	200,000	200,000	0	0	
積立資産費用 <33>	5,250,000	5,367,000	3,555,340	117,000	1) 組織運営事業及び事務局運営事業(退職共済掛金<東社協>掛金の増。前年度比117千円増)
その他の活動による費用 <34>	6,240,000	6,720,000	0	480,000	1) 高齢者あんしん生活支援事業(預託金価格改定による増。前年度比480千円増)
経常費用計(25+26+27+28+29+30+31+32+33+34) <35>	1,064,720,000	1,084,058,000	665,167,952	19,338,000	